

## 海外技術研修員が福井県内の小学校に

### ブラジルの子どもたちの描いた絵画を届けました

ブラジルとアルゼンチンからの海外技術研修員3名が、坂井市立高椋小学校と、福井市立大安寺小学校にブラジルの子どもたちが描いた絵画を届けました。

高椋小学校はブラジル・サンパウロ州サンミゲルアルカンジョ市の福井村（コロニア・ピニャール）の日本語モデル校と1997年から交流を続けています。

9月3日（月）の始業式の時に、全校生徒が出席して贈呈式が行われ、研修員から児童代表の6年生に手渡しました。今回は貼り絵、書道、絵画や文集などの作品があり、子どもたちは大変興味深く見ていました。

3月には高椋小学校の皆さんが描いた絵画を受け取り、ブラジルに帰国した後に日本語モデル校に届ける予定です。



大安寺小学校はブラジル・サンパウロ州アルジャ市のアルジャ日本語学校と1995から交流を行っています。

9月13日（木）に学校において贈呈式が行われ、研修員から児童代表の6年生に絵画が手渡されました。

贈呈式の後、5年生の児童17名との交流会が行われ、児童が日本や福井のおすすめスポット、食べ物、着物、遊びをクイズ形式で紹介。研修員へブラジルの様子も質問しました。その後は、一緒に新聞じゃんけんや福笑いをして楽しい時間を過ごしました。

両校では、届けられた絵画を校内に掲示して、いつでも子どもたちが見られるようにしています。